

日本臨床歯科医学会大阪支部(大阪 SJCD)技工士部会活動報告

2018年12月1日(土)、日本臨床歯科医学会大阪支部 H30年度第3回
学術大会(大阪 SJCD 第208回例会)の午前中に第6回技工士部会
テクニシャンミーティングを開催致した。

参加人数は技工士部会発足後、最高の65名の会員(歯科医師、歯科衛生士含む)
に参加いただいた。

土曜日の朝早くからのミーティングにもかかわらず、大阪支部最高顧問・
本多正明先生はじめ理事の先生方、そしてなんと午後からの本会例会にて
特別講演を予定されていた内藤正裕先生(くれなゐ塾主宰)も急遽ご参加くださり
貴重なご意見、アドバイスをいただく事もでき、症例に対するディスカッション
を通して会員の方々と有意義な時間を共有出来た。







会員発表

演題 ① 前歯部複数歯抜歯即時埋入症例における補綴物作製

座長：上原芳樹(大阪 SJCD 技工士部会執行部)



演題 ② 清掃性と咬頭嵌合位の安定を考慮した

インプラン埋入ポジションの考察

新海敦司 本多歯科医院

ディスカッション

座長 : 藤尾 明 (大阪 SJCD 技工士部会会長)





技工士部会発足の趣旨は、より歯科治療あるいは補綴治療に貢献できる
歯科技工士の育成を目的に発足致した。

技工士会員による症例発表を通して参加者全員で臨床体感をしていただきながら
会員の皆様のレベルアップにつなげていただけるよう技工士部会執行部一同で
企画、開催していく予定です。次回以降も、発表者及び多くの方々のご参加お待ちしております。

藤本 光治（大阪 SJCD 技工士部会統括・本会理事）

米澤 大地 日本臨床歯科医学会大阪支部長（大阪 SJCD

会長）

